

[086_04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/2800486>

出版情報：法政研究. 86 (4), 2020-03-13. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

法政研究 第八六卷 (一号・二号・三号・四号) 総目次

論説

号 通頁

イギリス労働法における賃金からの控除を受けない労働者の権利(1) 九州大学大学院法学研究院准教授

新屋敷恵美子 一 三一八

——強行法規の適用における合意(契約解釈)の領分と法規制の領分の一類型——

中華民国初期における中国法制史学展開過程の一断面 九州大学大学院法学研究院教授

西 英昭 二 五八四

——教科書の分析を中心に——

平成期河川立法・行政・司法の回顧(1) 九州大学大学院法学研究院教授

七戸 克彦 二 五二八

イギリス労働法における賃金からの控除を受けない労働者の権利(2・完) 九州大学大学院法学研究院准教授

新屋敷恵美子 二 四七〇

——強行法規の適用における合意(契約解釈)の領分と法規制の領分の一類型——

古代ローマにおける解放奴隷の扶養に関する一考察 九州大学大学院法学研究院教授

五十君麻里子 三 五八五

——Q. C.スカエウォラ法文学説彙纂三四卷一章一六法文一項を手掛かりに——

A I自動運転をめぐる刑事責任 九州大学大学院法学研究院教授

井上 宜裕 三 五九九

——緊急避難の成否を中心に——

社会制度としての法 九州大学大学院法学研究院教授

江口 厚仁 三 六〇九

ナチ阿片と「大東亜共栄圏」 九州大学大学院法学研究院教授

熊野 直樹 三 六三一

配偶者居住権 九州大学大学院法学研究院教授

七戸 克彦 三 一〇四八

——ある皮肉な物語——

所得税法における要件事実

—— 収入金額および必要経費の主張・立証とその推認構造 ——

九州大学大学院法学研究院准教授 田中 晶国 三 六六一

「法に従わない自由」と「アーキテクチャに従わない自由」

中華民国北洋政府期の「法理学者」李圻とその三部作

九州大学大学院法学研究院准教授 成原 慧 三 六八七

九州大学大学院法学研究院教授 西 英昭 三 七〇九

イギリスにおける過支給の公的扶助給付の返還方法

九州大学大学院法学研究院教授 丸谷 浩介 三 七三三

準拠法決定過程の数理モデル化に関する試論

九州大学大学院法学研究院准教授 八並 廉 三 一〇一四

割増賃金の意味

九州大学大学院法学研究院教授 山下 昇 三 七六一

—— 二五%か二二五% ——

カントの刑罰的正義論

九州大学大学院法学研究院協力研究員 城下健太郎 三 七八九

医学研究と倫理

久留米大学非常勤講師 伊佐 智子 三 八一

—— 臨床研究法をめぐる議論を中心に ——

イギリス法における契約責任と不法行為責任の競合

名城大学法学部准教授 川元 主税 三 八三九

—— 損害の遠隔性を中心に ——

韓国婚姻法に関する一考察

岡山商科大学法学部法学科助教 鬼頭 祐紀 三 八六七

—— 「事実上婚姻関係存否確認請求」制度と「婚姻意思の推定」に関する判例の展開を手がかりに ——

中国民法典編纂の現状及びその課題

中国西南政法大学経済法学院准教授 戦 東昇 三 八九三

—— 契約編を中心として ——

「秩序」としての紛争・再考

大阪大学大学院法学研究科教授 福井 康太 三 九一七

「運の平等主義」の一側面

御路工業高等専門学校創造工学科准教授

細見 佳子 三

九四一

—— 様々なドウォーキン像

〈負い目〉の法哲学に向けた予備的考察

佐賀大学教育学部教授

吉岡 剛彦 三

九六九

—— 自由意志と責任主義をめぐる近時の議論動向の素描を通して

三上参次と官学アカデミズム史学の成立

九州大学大学院法学研究院准教授

山口 道弘 四

一四〇二

イギリスにおける就労をめぐる時間の多様化と労働法規制との齟齬

九州大学大学院法学研究院准教授

新屋敷惠美子 四

一三三六

—— 年次有給休暇の手当の算定における「通常の労働時間」をめぐる議論を素材として——

いわゆる「誤った判決」をめぐる一試論

九州大学大学院法学研究院教授

上田 竹志 四

一〇四九

—— 平成二二年二月六日福岡高裁判決を起点とする一連の裁判について——

平成期河川立法・行政・司法の回顧（2・元）

九州大学大学院法学研究院教授

七戸 克彦 四

一二七二

研究ノート

正当防衛における侵害の予期

九州大学大学院法学研究院教授

井上 宜裕 一

一

—— 最決平成二九年四月二六日の及ぼす影響について——

不法行為責任と医療水準の相対性について

九州大学大学院法学研究院教授

田中 教雄 四

一二〇八

講演

法を学ぶことの意義とそれに伴う責務

京都大学名誉教授

佐藤 幸治 一

一三

資料

- 日本評論社初代社長・茅原茂と第二代社長・鈴木利貞について(二・完) 九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 一 四一
- 日本評論社・旧社時代出版目録(二) 九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 一 一〇七
- ジョルジュ・ベリー著『必要不可欠な死刑』 フランス刑事立法研究会 訳 一 一五三
- 少年の拘禁体制に関する二〇一三年五月二四日の通達(2) フランス刑事立法研究会 訳 一 一六九
- クリスチャン・イエーガー「構成要件該当性、違法性、および責任 —— 「生命対生命」という法学上の葛藤状 況における3つの位置づけ」 九州大学大学院法学研究院教授 野澤 充 訳 二 四四四
- 日本評論社・旧社時代出版目録(三・完) 九州大学大学院法学研究院教授 七戸 克彦 二 三一九
- 親が拘禁されている子どもに関する欧州規則 九州刑事政策研究会 訳 二 四一〇
- 2018年4月4日の欧州評議会閣僚委員会の勧告第5号 ——
- 少年の拘禁体制に関する二〇一三年五月二四日の通達(3) フランス刑事立法研究会 訳 二 三八一
- 少年刑事司法法典法律の部を含む二〇一九年九月一日のオルドナンス第二〇一九一九五〇号に関する 九州大学大学院法学研究院教授 井上 宜裕 訳 四 一〇九一
- 共和国大統領への報告書 フランス刑事立法研究会 訳 四 一一〇五
- フランス少年刑事司法法典 二〇一九年九月一日のオルドナンス第二〇一九一九五〇号(一) フランス刑事立法研究会 訳 四 一一二五
- 少年の拘禁体制に関する二〇一三年五月二四日の通達(4・完) フランス刑事立法研究会 訳 四 一一二五

書評

山本圭著『不審者のデモクラシー』（岩波書店、二〇一六年）九州大学大学院法学研究院准教授 大賀 哲 一 一八三

判例研究

小規模個人再生において住宅資金特別条項を定めた再生計画案の可決が信義則に反する行為に基づく場合に当たるか否かの判断に当たり無異議債権の存否を考慮することができるとされた例

九州大学大学院法学研究院准教授 浅野 雄太 一 一九三

公法判例研究 九州公法判例研究会 一 二〇九

社会法判例研究 社会法判例研究会 一 二二五

民事手続判例研究 民事手続研究会 四 一一三七

商事判例研究 九州大学産業法研究会 四 一一五三

著作目録

酒匂一郎教授 著作目録 三

五十川直行教授 著作目録 三